

読書礼賛～ともに成長しよう～

こうやって、考える

著者 外山 滋比古 著

お茶の水女子大学の名誉教授・評論家・エッセイスト

知の巨人と評された方で2020年7月逝去

2021年12月16日初版



代表取締役社長
越前賢一

- 要旨：本書は筆者が過去に出版した多くの本から抜粋された、筆者の知見から短い文章を抜粋し、再構成したものです。7章で構成されています。筆者著作の中で特に有名なものが『思考の整理学』だと思います。1986年4月に出版され、私も20代のころ読んだことがあり、大学生に一番読まれた本としても有名ですね。
第1章：発想力を鍛えるヒント
第2章：思考のプロセス
第3章：思考力を高めるヒント
第4章：知性を磨く生活
第5章：思考につながる読書
第6章：発想が豊かになる“おしゃべり”
第7章：未来を創るヒント
各章の中でも多くの知見が得られるし、短い文章なので、読みながら自分は何に共感するか、共感できないかを確かめながら読むといい本です。こうした本は コーヒーブレイクの間に硬い本の中間として読むといい。多くの本を読んで知識が蓄積されていく中で、頭の整理や、「なるほど!」といった感動を簡単に得やすい。こうして『メタ認知』を鍛えるためにも、自分は何でこの言葉に触れ、どうしてそう思うのか?を考えながら読むと思考を整理する習慣が身につく。
- 参考になった点
 - 発想を豊かにするためには『メモの習慣を身につける』
アイディアはいつ現れるかわからない。常住坐臥、寝ても覚めてもこらば、逃がさじと準備の構えが必要。他人のメガネでものを見るなという教え。
 - 思考のプロセス
思考の整理法として、寝かせるほど大切なことはない。一気に書いた文章を一晩寝かせて、改めて見直すと新たな視点や抜けている論点などが見つかる。一晩冷静になることで思考が深くなる。
 - 感想を書く
書くことはおっくうではある、頭脳をよくする最もよい方法は書くことだ!自分の意見を文章にする。特に感想!プレゼンでも感情を伝えることは大事。
 - 知性は“話しことば”に現れる
話すことは文章にするよりはお互い多くの深いことを伝えることができる。愚にもつかぬ“おしゃべり”も多いけれども、本当の心は文字ではなく、声のことばに現れる。教養のある方の話には感銘を受けるものである。

以上

株式会社 札幌総合保険マネジメント

〒004-0863 札幌市清田区北野3条5丁目20番12号アドヴァンス北野102

電話:011-883-5667 FAX:011-883-5749

※お電話による受付時間 平日9:00～17:00



HAPPY



私たちは、
プロの保険代理店です

HAPPY通信 第44号もくじ

保険TOPICS

ご存じですか

転ばぬ先の杖

事故のケーススタディ

Information

札幌総合保険マネジメント スペシャル情報

役立つ保険の新知識

保険 TOPICS

ご存じ
ですか

台風や豪雨で 車が被害に



道路冠水の一例



車両水没の一例

北海道の豪雨災害
昭和56年8月
平成13年8月
平成28年8月
(国土交通省HPより)

車両保険に入っていれば、事故だけではなく
台風や洪水の損害もお守りします！

※地震・噴火・津波被害はオプションでお守りします

台風豪雨被害はフルカバー・エコノミーどちらの車両保険でも対象です

車両保険
入っていますか？

いますぐ
一緒に確認を！

答え：①交通規制区間がここで終わる(その下にある本標識全てが終わりということ)
②前方に横断歩道または自転車横断帯あり
③前方にロータリーあり

転ばぬ先の杖

事故の ケース スタディ

道路でよく見る アシ

次の道路標識
(表示)が
答えられますか？

※答えは左ページの 保険TOPIC一番下にあります



①



ヒント：
本標識と
セットであります

②



ヒント：
この先に
何かがあります

③



ヒント：
エスコン近くに
出来ました

安全運転の再確認をしませんか？

「事故を避ける」をテーマにした
「事故防止研修」を
行っております

詳しくはわたしたちまでご相談ください

プロの保険代理店として、私たちは、CS(ちゃんと説明する)がモットーです。
保険に関わることで、わからないこと、不安に思うことなど、ご質問・ご相談ください。